



NX-OS Style CLI を使用してタスクを実行する

- [Cisco ACI 仮想エッジへの移行 \(1 ページ\)](#)
- [VMware vSphere Proactive HA を使用して Cisco ACI 仮想エッジの可用性の向上 \(2 ページ\)](#)

Cisco ACI 仮想エッジへの移行

NX-OS スタイルの CLI を使用して VDS ドメインを Cisco ACI Virtual Edge へ移行する

移行時に、ドメインで Cisco ACI Virtual Edge を使用できるようにします。

始める前に

VMM ドメインを作成しておきます。[Cisco ACI Virtualization Guide](#) の「Creating a VMM Domain Profile」の手順を参照してください。

手順

VDS VMM ドメインを移行します。

例：

```
apicl(config)# vmware-domain mininet
apicl(config-vmware)# configure-ave
apicl(config-vmware-ave)# vxlan multicast-pool 225.2.1.1-225.2.1.100
apicl(config-vmware-ave)# exit
apicl(config-vmware)# exit
apicl(config)# exit
apicl#
```

VMware vSphere Proactive HA を使用して Cisco ACI 仮想エッジの可用性の向上

NX-OS Style CLI を使用して vSphere Proactive HA を有効にする

NX-OS スタイル CLI を使用して、Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) のいくつかのタスクを実行できます。

- ホスト可用性保証を有効にします。これにより、VMware vCenter に存在する vSphere Proactive HA プロバイダー オブジェクトが作成されます。このオブジェクトを使用すると、VMware vCenter は動作していない Cisco アプリケーションセントリック インフラストラクチャ (ACI) 仮想 Edge を持つホストを隔離し、その VM を移動できます。
- VMware vCenter が稼働していない Cisco ACI Virtual Edge を持つホストを検疫し、VM をホストから移動するまでの期間を設定します。



(注) Proactive HA がすでに設定されている状態でクラスタにホストを追加し、Cisco ACI Virtual Edge VMM ドメインにホストを追加またはホストをアタッチするとき、それらのホストはある状況かでは適切に動作しない可能性があります。Cisco ACI Virtual Edge または OpFlex がダウンしたとき、Proactive HA でホストが適切に動作しない可能性があります。ホストのヘルスステータスが Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) で黄色に適切に設定されているにもかかわらず、ホストが検疫モードにならない可能性もあります。

この問題を修正するには、クラスタの Proactive HA を無効にして、再度有効にします。

手順

ステップ 1 ホスト可用性保証を有効にします。

```
apic1# config
apic1(config)# vmware-domain mininet
apic1(config-vmware)# avail-monitor enable
apic1(config-vmware)# show run
# Command: show running-config vmware-domain mininet
# Time: Mon Aug 6 22:05:58 2018
vmware-domain mininet
  vlan-domain member mininet type vmware
  vcenter 172.23.143.235 datacenter mininet dvs-version 6.0
  # username admin
  esx-avail-override 172.23.143.228 yellow
  exit
configure-ave
  switching mode vxlan
  multicast-address 225.1.1.1
  vxlan multicast-pool 225.2.1.1-225.2.1.100
```

```
exit
avail-monitor enable
exit
apicl(config-vmware)#
```

ステップ 2 Cisco ACI Virtual Edge タイムアウトを設定します。

```
apicl# config
apicl(config)# vmware-domain mininet
apicl(config-vmware)# configure-ave
apicl(config-vmware-ave)# ave-timeout 10
```

10 ～ 100 秒の任意の値を選択できます。デフォルトは 30 秒です。

次のタスク

VMware vCenter で VMware vSphere Proactive HA 機能をまだ有効にしていない場合は、有効にします。このガイドの [VMware vCenter で vSphere Proactive HA を有効にする](#) セクションを参照してください。

特定のホストの状態を設定して、Cisco ACI Virtual Edge の状態に基づいてデフォルトの状態を上書きできます。 [ESXi ホストのヘルス レベルの手動設定](#) の項を参照してください。

NX-OS Style CLI を使用して Cisco ACI 仮想エッジホストで状態を設定する

始める前に

Cisco ACI Virtual Edge を含むホストが必要です。

手順

ホストの状態を設定します。

```
apicl# config
apicl(config)# vmware-domain mininet
apicl(config-vmware)# vcenter 192.168.0.235 datacenter apicl(config-vmware)# vcenter
172.23.143.235 datacenter mininet
apicl(config-vmware-vc)# esx-avail-override 192.168.0.1 yellow
apicl(config-vmware-vc)# show run
# Command: show running-config vmware-domain mininet vcenter 192.168.0.235 datacenter
mininet
# Time: Mon Aug 6 23:47:17 2018
vmware-domain mininet
vcenter 192.168.0.235 datacenter mininet dvs-version 6.0
# username admin
esx-avail-override 192.168.0.1 yellow
exit
exit
apicl(config-vmware-vc)#
```

NX-OS Style CLI を使用して VM グループ保護を設定する

NX-OS style CLI を使用して、Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) 仮想エッジ ホストが動作を停止した場合に、特定の VM グループを動作中のホストに移動することができます。

始める前に

VMware vCenter で VM グループを設定し、Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) で vSphere Proactive HA を有効にする必要があります。

手順

VM グループ保護を設定します。

例 :

```
apicl# config
apicl(config)# vmware-domain mininet
apicl(config-vmware)# vcenter 192.168.0.1 datacenter mininet
apicl(config-vmware-vc)# protect-vm-group "AVE_Cluster_Name/VM_Group_Name"
```

AVE_Cluster_Name は、VM グループが定義され、アフィニティ ルールがプログラムされている VMware vCenter 上の ESXi クラスタの名前です。VM グループはクラスタ固有です。
VM_Group_Name は、指定したクラスタに存在する VM グループの名前です。
